

イベントの狙い：里山再生保全の大切さを伝えてその環境を次世代につなぐこと

里山とは人が自然と共生するところである。人が自然の中で生きるために活動することで様々な環境が生まれる。人がいなければ深い暗い森に支配されて、その環境でしか生きられない生物しか残らない。陽の差し込む明るい里山林、人の生活の基盤となる農園、果樹園、それらを維持するための水路やため池、草原など、さまざまな場所に多様な生物が棲息することができる。

イベントメニューとその狙い

イベントメニュー	狙い（伝えたいこと）
コナラの苗木の植樹	陽の差し込む明るい里山林の再生には、自然に任せる実生の発芽からの再生と人が薪材用などに利用するために伐採して萌芽させる再生がある。ならやま里山林は長く放置されていたために老木が多く萌芽再生は期待できないため、雑木・老木を伐採し実生から発芽した苗を保護育成して植樹することで再生を助けることを目指している。現在対象地域の落葉広葉樹はコナラ、クヌギを中心として約1000本あるが毎年約50本を植樹して20～30年で再生することを夢見ている。その植樹を子供たちと協働することで、里山林再生の一端を担ってもらい、同時に里山林の大切さを知るきっかけとする。
榎木へのシイタケ菌の植菌	キノコ菌は枯れ木に繁殖しその腐食を促進して枯れ木が早く土に帰ることを助けてくれる。里山林再生の一端を担っていることを伝える。シイタケ栽培は人がその助けをすることで里山林の再生を促進する活動でもある。子供たちが協働を通じてそうした意味を少しでも感じてくれることを狙っている。
里山遊び・里山散策	里山は人が自然と共生する場であり、そこには人が楽しみを感じるものがなければならない。自然の中で気持ちよく遊ぶことで様々な恵みがあることを感じてもらうことが狙いである。
里山の話	最後に、里山とは人が自然と共生する場であり、自然の中にいると人は楽しく感じるのは人も自然の一部だからであることを伝えたい。

もう一つの狙い：共感できる人たちを新たな仲間として迎えたい。ともに活動する仲間が増えることを期待している。

## 過去のイベント風景



コナラ苗木の植樹



シイタケ菌の植菌



薪割り体験



林の中のアスレチック



自然の不思議を学ぶ

## ならやまの活動：5つのグループによる里山保全維持管理

- **里山グループ** 山林の枯死木の伐倒、薪の生産、キノコ栽培
- **エコファームグループ** 田畑を整備し、無農薬有機栽培による農作物を生産
- **景観グループ** 雑草刈り取り、竹林、花壇、ビオトープの整備
- **パトロールグループ** 生物調査観察とそのための観察路の整備、生物多様性保全のための水路の整備
- **果樹グループ** 雑木林を切り開き果樹を育成・栽培



ならやまの眺め・・里山の原風景

